



奈良・人と自然の会



＜わたしたちは大和の自然を愛します＞

生物多様性について II

川井 秀夫

1 最近の植樹はDNAがポイント

地球温暖化防止の為に木を植えようと言いますが、木を植えていけば良いという時代ではなくなっています。生物多様性の保全という意味では、植える苗の選定に十分な配慮が必要です。

例えば、同じ種類の樹木で出身地が違うものを植えたために、その地域に固有のDNAを持つ木と交雑し、生態系が変質してしまう。

放置された里山のように、緑地の管理、利用方法が変わることにより、その地域の生物が絶滅の危機に瀕する。等々。

時空を経て、大自然による生物相の変化を、良い意味での人為的な保護は必要としても、行き過ぎた表層的な人為対策は一考の余地が残されている様に思います。

2 ラムサール条約とは

湿地・沼沢地・干潟等の湿地の重要性が認識される様になり、71年 イランのラムサールにて、特に「水鳥の生息域として国際的に重要な湿地に関する条約」として水鳥と湿地の保護・保全が75年に発効しました。世界では05年現在、147ヶ国 1524ヶ所、日本では33ヶ所になっています。

それにつけても、日本国内では、しばしば干拓地の埋め立てが社会問題化し、未登録の湿地が失われ、国際法と国内法の矛盾に首を傾げるのは筆者だけではないでしょう。

ご参考までに日本のラムサール条約登録湿地を下記に掲げました。

1 釧路湿原	80年	12 宮島沼	02年	23 奥日光の湿原	05年
2 伊豆沼・内沼	85	13 藤前干潟	02	24 三方五湖	"
3 クッチャロ湖	89	14 サロベツ原野	05	25 串本沿岸海域	"
4 ウトナイ湖	91	15 湧沸湖	"	26 穴道湖	"
5 霧多布湿原	93	16 野付半島・野付湾	"	27 中海	"
6 厚岸湖	93	17 阿寒湖	"	28 秋吉台地下水系	"
7 谷津干潟	93	18 風蓮湖・春国岱	"	29 くじゅう坊ガツル・タデ原湿原	"
8 片野鴨池	93	19 雨竜沼湿原	"	30 蘭牟田池	"
9 琵琶湖	93	20 仏沼	"	31 屋久島永田浜	"
10 佐潟	96	21 蕪栗沼・周辺水田	"	32 慶良間諸島海域	"
11 漫湖	99	22 尾瀬	"	33 名蔵アンパル	"

こうして並べると所在地不明のものが多くあります。私も訪れた所は数ヶ所に止まります。有名地を除き、所在府県を書いておきますので当地へお出掛けの際は、環境保護の視点で観察されてはいかがでしょうか。

「北海道」(4)(5)(6)(12)(15)(16)(18)(19)
「青森」(20)「岩手」(2)(21)「千葉」(7)「新潟」(10)
「大分」(29)「鹿児島」(30)「沖縄」(11)(32)(33)。

第16回近畿自然歩道・まほろばの路



「高見山を越える路」 報告

担当：岩田利秋

日時：平成18年9月14日（木） 近鉄榛原駅 バス停9時集合。 天候・曇り
行程：榛原駅9時15分→（バス50分）→高見登山口→古市跡→小峠→大峠（高見峠）→山頂→
高見杉→下平野バス停15時26分→（バス55分）→榛原駅16時20分（解散）
＜距離10km＞

参加者：6名： 柳田、守口、福谷、林、岩田、（弓場；下見）の各氏

古くから紀伊半島基部を東西に貫く街道の要地で、伊勢参詣や紀州藩の参勤交代にも利用された「高見山を越える路」を訪ねた。榛原駅よりバスは、八咫鳥神社（705年鎮座）、伊那佐山を車窓より眺めつつ、早や彼岸花の蕾も膨らみかけた東吉野の集落を目指す。

驚家でバスを乗換えるとき、文政11年（1828）に建てられた頂部に常夜灯をのせた花崗岩製の道標を観る。大和に現存する道標では珍しい「江戸」までの案内が刻まれている。

「登山口」から先人の歩いた石畳を踏みしめながら「古市跡」の標示を見ながら杉林の中を小峠、大峠（高見峠）へと行く。大峠には高見山関の寄進した鳥居を見つつ頂上めざし樹林を進む。

展望のいいところで昼食としたが、台高の山並みが瞬時の顔を覗かせ疲れを癒してくれました。

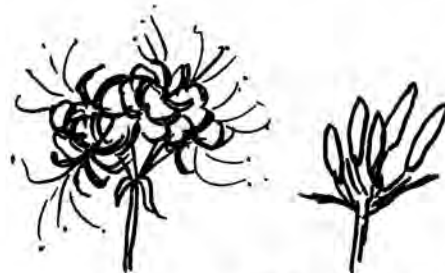
山頂（標高1249m）に着くも、ガスで眺望も悪くマップと案内表示盤だけの360°の展望をしつつ、高角神社に参拝し万葉集「吾妹子を いざみの山を 高みかも 大和の見えぬ国かも」（石上麻呂）を吟じつつ下山する。ブナ、杉林の中を樹齢700年の高見杉を仰ぎみつつ無事、高見平野にゴールする。

観察されたものは、ヤマホトトギス、キンミズヒキソウ、キツネノマゴ、マツカゼソウ、コハウチワカエデ、ウリハダカエデ、ヒメシヤラ、ホタルブクロ、ギンリョウソウ、コアジサイ、ヒンゲノカズラ、ルリセンチコガネ、シーボルトミミズ（約25%位）。

曇天のため、関西のmatterホルンとも言われている美しい山容が眺望できなかったのが残念でしたが、厳冬期の「海老の尻尾」といわれる樹氷も大変美しいことを付記して報告とします。

参加していただいた方々のご協力と、楽しかったトレッキングに感謝します。

自然俳句欄



国原の野に曼珠沙華曼珠沙華

川井 秀夫

9月例会。古代ロマンの道「巨勢」。鮮烈に燃える姿に圧倒される。
ただただ 彼岸花の存在感。下見当日は奇しくも子規の忌日であった。

スズメ

小田 久美子

鳥見をする時に「なあんだスズメかあ・・・」と無視されるスズメですが、ではちょっと描いて見て下さい。まず体の大きさは？、嘴の長さや色は？？、意外に描けないですね。

息子がまだ幼稚園の頃、学校の先生が鳥に4本脚を描いたといつて「今時の先生は」と話題になったことがありますがあなたの絵は勿論2本脚ですよ（失礼しました）。

無人島や山奥にはいません。山道に迷った時スズメがいたら安心と云われますが、アジアでは長く稲作の敵として追われて来た記憶から、取り分け警戒心が強く、そのくせ何故か人と近い所に暮らしています。昔、家々の瓦屋根の軒先には「すずめ口」と呼ぶ三角形の空間があって、その奥がスズメの巣と決まっていたましたが、人間の住環境の変化と共にスズメたちも住宅難、「ハタオリドリ科」の仲間なのに巣造りは「メツチャヘタドリ」なので、時にはツバメやシジュウカラの巣を乗っ取ったり、小さな穴を見つけると紙くずなどを押し込んだりビニールテープが垂れ下がっていたり、ガス風呂の煙突内の巣が不完全燃焼を誘発し中毒死者が出て殺人犯にされたりしてしまいます。貧乏人の子沢山で晩春に一番子を巣立たせて休む間もなく二番子の子育て、時には三番子を見ることがあります。近年、花びらの蜜の部分を外からちぎり取り、蜜をなめ花を捨ててしまうという早業のため、花をちぎって遊んでいるように見える行動が話題になっています。お花見に出掛けたら花の下も是非見て下さい。



★ [斑鳩]・ツバメ 7/26 第2回目の子育て開始。8/11 雛2羽姿を見せる。8/15 もう1羽顔をせる 8/26 3羽大きくなる。8/29 朝 巣は空だった。巣立ちには少し早いように思ったのだが。9/1 朝 3羽が巣の中に入っていた？？？こんなことある？9/2～4 朝巣は空っぽ。本当に巣立ったのか？9/4 夕方2羽が巣にいた。（夜に帰ってきていたのです）9/9 そのお家の玄関灯に3羽がへばりついてた。9/17 2羽になった。9/19 1羽になった。9/21 そのお家の玄関はきれいに掃除がされていた。とうとう残りの1羽もいなくなった。約2か月の間同じ家にいたツバメを初めて見た。

（勝田）

・9/1 イソヒヨドリ 早が今まで見たことのない場所にいた。よく見るのより若いように見えたのですが、実態は不明。9/13 民家のアンテナにぴすぐ近くの窓に早がいた。9/14 竜田川近くのアナテナに早がいた。この辺りに何羽いるのか？

（勝田）

★ 今日(11日)もういなくなつたと思っていたヒグラシが夕方5時半頃に カナカナカナと鳴いていました。秋の虫の音もいいけどヒグラシの鳴き声はなんか夕方にぴったりでいいですね。セミですが去年は22日くらいまで鳴いていましたが今年はどうかと 気をつけています。

・夏は鳥達も暑いせいか声が聞こえませんが元気なのはコジュケイで 6時位から大きい声で「チョットコイ チョットコイ」と鳴いています。御所の畑で久し振りにイカルのきれいな声とモズの高鳴きを ききました。

・畑の雨水を溜めておくパールに今ごろオタマジャクシがいます。草引きをしていたらトノサマガエルが側にきてじっとしているので「あんたの子なの?」ときいてみたんですが返事がありません。豆ガエルの誕生が楽しみですうちのオタマジャクシは15匹はいます。まだ足がでていませんで冬眠前にちゃんとカエルになるのか心配しています。名前をつけたいのですがみな同じで、仕方がないので「い、ろ、は、に、ほ、……」と一応つけて「いっちゃん ろっちゃん……」と適当に呼んでいます。暇だねー(笑い)。

・今年初めて50センチ+35センチ+30センチ(高さ)の発泡スチロールの箱に稲を植えました。今 見事に実って稲刈りが楽しみです。なんで植えたかといいますが毎年自分で作っている注連縄を今年は自分で育てた稲で作ってみたかったです。来年はもち米の苗をもらって(もち米の稲が注連縄作りにいいそうです)また育ててみようと思います。(齋藤 和)

★ 芭蕉が山形の立石寺で詠んだ有名な「閑さや岩にしみ入蟬の声」のセミは何ぞミかわかりますか? 今までなんとも思わないでいたんですが この夏山形の姉のうへへ行った時 一日中庭で「ミン ミン ミン ミン」とすぐ側の木にとまって入れ替わりに大きな声で鳴くんです。山形市内で普通に鳴いているんです。それでこっちに帰ってきたときふとこの句を思い出してひょっとしてこの句のセミはミンミンゼミなのでは? と思ったわけですがはたし これで合っているのかな? 地域情報にならないと思いますが皆さんから教えていただけたらと思います。 ちなみに秋田の娘の所もミンミンゼミでした。(齋藤 和)



全国の養蜂業者に危機感が広がっている。高級はちみつが取れるニセアカシアが、昨年6月に施行された外来生物法で新たな栽培を禁止、伐採を勧める対象の「特定外来生物」に指定される可能性も出てきたからだ。現在は「要注意リスト」に入っている。国産はちみつ約半分はニセアカシアからの採取とされ、日本養蜂はちみつ協会(東京都中央区)の谷奥勝利常務は「指定されると、全国の養蜂業者の半分以上が廃業する可能性もある」と懸念。地方の業者からも悲鳴が聞こえる。

ニセアカシアは北米原産のマメ科の広葉樹で、正式名はハリエンジュ。明治初期に輸入され、信濃川河川敷など全国各地の緑化に役立った。北原白秋の詩「この道」や1960年代に流行した西田佐知子の「アカシアの雨がやむとき」に歌われたのもニセアカシアだ。

淡い桃色の花から取れるはちみつは色も香りも良く、レンゲみつに次ぐ高級品。国産はちみつ生産量2311トン(04年)のうち約半分を占め、特に東日本の養蜂業は

ニセアカシアが「特定外来生物」?

半数以上廃業も

環境企画課は「指定されれば駆除が基本」この方針を崩していない。要注意リストに入ったことで、伐採する自治体も出てきた。新潟市では「松林を阻害する」として間伐を進めている。

これに対し、新潟県養蜂協会(井出秀雄会長)は、▽景観と沿道の大気浄化に役立ってきた▽伐採は地球温暖化対策に逆行——などとして関係省庁に、特定外来生物に指定しないことや伐採をやめるよう働きかけている。

ニセアカシアで成り立っている。だが、「繁殖力が旺盛で、日本固有種の生息域を侵す」との理由で環境省の要注意リストに昨年8月に掲載された。国の作業部会は今年度中に、現在のブラックバスなど動植物80種の特定外来生物に新たに追加指定する種を検討する方針だ。環境省は「必ず指定されることは限らない。指定されても、伐採を勧めるが、法的に命令権はない」と説明するものの、新潟県

* 毎日新聞 (06/7/18)



【奈良忍辱山森林整備作業】

- 〈場 所〉 奈良忍辱山国有林 (淀川、木津川、白砂川の源流域)
(忍辱山円成寺駐車場)より徒歩10分 柳生街道沿い。初回作業地隣
- 〈集合場所〉 国道369号線
忍辱山円成寺駐車場 (バス停 円成寺口と忍辱山円成寺の間)
- 〈日 時〉 10月 3日(火) 10時20分 第57回
10月21日(土) 9時20分 第58回
11月 5日(日) 9時20分 第59回
11月16日(木) 10時20分 第60回
12月 2日(土) 9時20分 第61回
12月21日(木) 10時20分 第62回
〈終了予定〉 午後3時頃
- 【天 候】 午前6時 奈良県北西部に警報が出されている場合は中止いたします
- 〈交 通〉 奈良交通バス
平日 [梅の郷月ヶ瀬温泉行き] 土・日・祝 [柳生行き]
JR奈良駅⑥番乗り場 近鉄奈良駅④番乗り場 忍辱山円成寺
日祝 8:26 8:29 9:02
平日 9:30 9:33 10:06
臨時バス お問い合わせ 奈良交通 ☎0742(20)3100
- 〈持ち物〉 ヘルメット(防災用)、手袋、スパッツ、鋸、防護眼鏡、弁当、飲み物
ヘルメット、防護眼鏡、鋸等の用具は当会にて多少は用意しております
《未経験者には基本より指導いたしますのでお気軽に。森林を楽しみましょう。》
作業をしなくても結構です。森林浴を楽しんで下さい。待ってます。
- 〈連絡先〉 弓場厚次
阿部和生
寺田正博

【作業報告】

9月21日(木) 晴 気温 10時30分 20℃ 13時 25℃ 参加者9名
昨年10月より開始した現作業地の作業を無事終了しました。

気掛かりだった道路近くの大木(20m)を全員にて慎重に無事処理。

林辺部の間伐を行い テープ、空缶等のゴミを片付け、午後3時終了

《植物語源豆知識》 イチョウ 銀杏 公孫樹 ギンナン Ginkgo bilba LINN

中国原産で、平安末期に伝わった。古くから寺社にに植えられ、また学校、街路樹にもされている。(御堂筋など) 雌雄異株で、種はギンナンで食用。葉は本の防虫に用いたりする。

歴史仮名はイチャウ。はじめイテフと書かれていたのは葉の散るさまが「蝶」に似ているからもあったでしょう。中国語に基づくことは『大言海』に「鴨脚の字の中国永代の音なり、中国音は広東にてイチャオ」とある。「公孫樹」と書くのは「言ハ、公植エテ而孫始メ得食スルヲ」(菽園雜記)とあるように、植樹後、孫の代に実が成って食べられるという意味である。Ginkgoはギンキョウと発音する。(語源辞典 東京堂他)

第17回近畿自然歩道・まほろばの路

～丹生川上神社中社と巨木を巡る路～

(秋の1日を東吉野村の歴史と巨木の道へ自然観察に出かけませんか)

今回は高見川の溪流に沿って、比較的楽なコースです(約10km)

ギンモクセイ、サザンカ、しだれ桜等の巨木を訪ねフシグロセンノウ、ツルマンリョウ、イワカガミ、ヤマトリカブト、他多数。 丹生川上神社は675年天武天皇、創建の由緒のある神社です

【日 時】 10月7日(土)

【集合場所】 近鉄大阪線 榛原駅南口 バス停9時 小雨決行

【交 通】 ・西大寺7:57(橿原線急行) 八木(乗換大阪線) 8:34発(急行) 榛原
8:47着

・鶴橋7:55大阪線急行 榛原8:47着

*奈良交通バス 榛原9:20分発杉谷行き 杉谷出合下車

【コース】 杉谷出合一東吉野温泉一伊豆尾一高見川一木津川一円覚寺一丹生川上中社一蟻通

【持 物】 雨具、弁当、観察用具

【担 当】 小嶺敏勝

10月度例会 『吉野 妹山樹叢』

妹山は吉野川の右岸に面し、旧伊勢街道と東熊野街道の分岐点にあります。太古の昔から山そのものが神として信仰され、樹木を切ることを恐れ、このために珍しい植物の宝庫となっており、天然記念物「妹山樹叢」として保護されています。

【日 程】 平成18年10月22日(日)

【集 合】 大和上市駅改札口 9時50分

【交 通】 南大阪線 阿部野橋8:20発 大和上市9:48着

橿原線 西大寺8:25発(橿原神宮8:58乗換え) 大和上市9:48着

【内 容】 大和上市駅・・・津風呂湖口・・・妹山北部より国有地内の植生調査・・・
津風呂湖口・・・大和上市駅周辺(旧伊勢街道)散策・・・大和上市駅解散

【担 当】 豊島すみ子

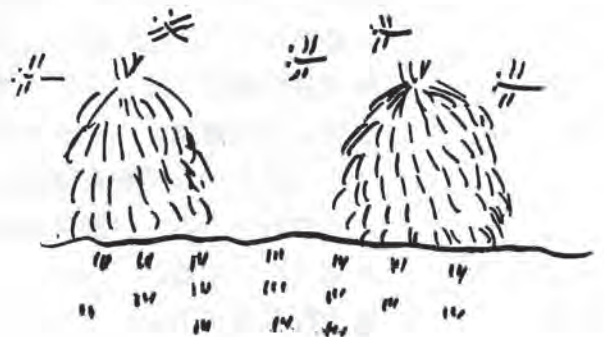
<11月の予定>

第18回近畿自然歩道・まほろばの路

【コース名】 みたらい溪谷を巡る路

【日 程】 11月20日(月)

【担 当】 大石門三



曾爾高原1泊研修・懇親のつどい

追加募集

★☆豊かな自然の中での講演・観察会

心に残る懇親の集いの開催★☆

【日 時】 平成18年11月8日(水)～11月9日(木)

【集 合】 近鉄大阪線 名張駅 9時15分集合

【宿泊施設】 国立曾爾青少年自然の家

【日 程】 (1日目)・自然観察

・講演 「星と私たち」 五条市大塔星の国支配人

辻本尚克氏

・星の観察会(講師付き)

(2日目)・周辺の観察会

・ネイチャークラフト

・ファームガーデン、亀の湯(希望者)

*参加申し込みの方にはタイムスケジュールの葉を事前に送付します

【会 費】 4000円

【締め切り】 10月6日(金)

【申 込 先】 下記世話人まで氏名、連絡先等を申し込み下さい

【世 話 人】 小嶺 敏勝

岩田 利秋

ミミズ・フェスティバル in 十津川・大塔 大ミミズ搜索・講演会 の ご 案 内

別紙 ご案内のように、ミミズ研究談話会が中心になり十津川村教育委員会と五條市教育委員会がミミズ・フェスティバルを開催され、日本で一番大きな「奈良の大ミミズ」の講演会と生息が有望な十津川村山手谷での大ミミズ搜索が行われます。ご講演会には京都大学名誉教授 渡辺 弘之先生と成蹊高校教諭 石塚 小太郎先生のお二人が予定されております。

会場は吉野・五條の地で、私たち「奈良・人と自然の会」の地元でもあり、本フェスティバルには会として協賛する事に成りました。会員の皆様には少々遠方になりますが、ぜひともご参加されて大ミミズの新種の発見に寄与されませんか。

日時・会場	:	11月11日(土) 五條市 大塔ふれあい交流館						
	:	11月12日(日) 十津川村役場 住民ホールと搜索会						
宿 泊	:	源泉かけ流しの各温泉を十津川観光協会が紹介いたします。						
交 通	:	・ 自家用車でご参加の方は会場に直接ご参集ください。						
	:	・ バス御利用の方は〔奈良交通バス〕 新宮行き特急バスを利用。						
		八木	JR五條	大塔温泉	十津川村役場			
				(ふれあい交流館)	(温泉地温泉)			
11月11日	(特)	10:58	→	12:12	→	13:27	→	14:50
	(各)			18:43	←	17:27		
11月12日	(特)	16:26	←	15:11	←	13:56	←	12:33

【担 当】 : 弓場 厚次

☆問い合わせ等どうぞ。

協力活動 「いこま棚田クラブ」10月活動日 ご案内

活動日…10・1(日)、10・9(月)、10・15(日)、10・23(月)

10・29日(菜の花の植え付け)。地域こども教室10・28生駒南小学校

10月より 生駒市より受託 「西畑向かい山」の間伐整備が始まります。

(里山整備 初めての方も歓迎・要具準備しています)

“棚田は、あなたを待っています！”

集合場所：近鉄生駒駅下車 南口側ケーブル駅西隣セブンイレブン前

集合時間：9時 現地までタクシー他 分乗で移動。持ち物：飲み物、弁当、作業スタイル

平成18年9月定例幹事会議事録

日時：9月5日(火) 17:30~20:30 場所：奈良県女性センター

出席者：12名 司会：明石 書記：大石

【報告事項】

- (1) 会員動向：92名 現金残高：206,303(全労災から18万円の入金あり、未記帳)
- (2) 奈良・忍辱山森林整備作業：現在地ほぼ終了、10月から第1回目のとりに挑戦。
- (3) 都祁の里山 工作教室応援行事 8/20女子大ほか計5団体と工作教室実施。
- (4) いこま棚田クラブ 4回実施。地域子供教室(文科省)を生駒市教育委員会後援。
- (5) 社会貢献事業 くろかみやま自然塾 9/24実施 担当：境、小嶺

【討議事項】

- (1) 全労災、生協助成金活用方法 今回採用になった全労災基金については、来年8月に完結報告書の提出必要。従ってテーマ(森林の再生)に沿った費用使用の整合性が求められるので、山用刈払機、電動のこ、山用はしご、交通費(資材運搬費)などに充当することを確認した。生協については、2月に再度間伐体験を実施予定。
- (2) 会報記事内容 会報の内容を高める為、多方面にわたり全員参加型の投稿が求められるが、巻頭言(会長)のほかに、2月から幹事による自然観察感などの記事の輪番制を決定。活発なる自由投稿とエポック的記事を編集担当から随時依頼する。
- (3) 他・県民フォーラム「なたねプロジェクト」：参加要請ありしも、棚田にて実施中にて見合わせる。・新春講演会：奈良教育大松井先生に講演依頼。

編集後記：9月からメールアドレスを下記のように変更いたしましたのでよろしく。

編集担当：勝田 均

TEL&FA

【当会の行事における傷害事故等については個人負担とし、当会は賠償等一切の責任は負いません】

奈良・人と自然の会事務所

会長 川井 秀夫